

平成27年度 学生提案具現化にかかる関係部署検討調書／チームいなり寿司

提案内容	提案名	メガネの帰る街 鯖江
	提案者	第8回鯖江市地域活性化プランコンテスト／チームいなり寿司
	提案内容	不要になったメガネを記念碑として残し、鯖江をメガネの帰るまちにする
提案内容	概要	<p>不要になったメガネはリサイクル、捨てる、寄附するなど、買い手に依存している。 ⇒鯖江市をメガネが帰る場所にする</p> <p>◎メガネバンクの創設 ・不要になった眼鏡を買い手からメガネ店が預って保管し、新しい買い手に引き継ぐ</p> <p>◎記念碑にしてメガネを形として残す ・買い手、メガネ店、メガネバンクなどから最終的に不要になった眼鏡を集めて記念碑を制作 ・一定の区画に積み上げてタワー状にする ・記念碑は思い入れのあるものを残すというプラスのイメージ</p>
	期待される効果	・鯖江市を、眼鏡の産地だけではなく眼鏡が帰る場所にする事で、眼鏡の生涯に携わる地としてのイメージアップにつながる。
検討結果	判断	一部採択
	形態	既存事業に組入れ
	採択年度	開始年度未定
検討結果	事業詳細または不採択理由	<p>(一社)福井県眼鏡協会において、直営店(アンテナショップ)や全国の眼鏡小売店、ユーザーから使用済み眼鏡を集め、リユース可能な物については修理を施し、ライオンズクラブ等を経由して海外の恵まれない国の人達に毎年届けている。一方、再生不可の眼鏡枠は、毎年秋に供養し処分している。</p> <p>メガネバンクの創設については、中古眼鏡フレームの市場性や、安全性、管理運営コスト、古物取扱い等について、調査・検討の余地がある。</p> <p>不要眼鏡による記念碑製作については、地元産業界との間で、その目的や費用対効果、産地イメージへの影響等について慎重な議論を重ねる必要がある。</p>

平成27年度 学生提案具現化にかかる関係部署検討調書／チームにまめ

提案内容	提案名	古民家いじり倒しプロジェクト
	提案者	第8回鯖江市地域活性化プランコンテスト／チームにまめ
	提案内容	移住者が地元住民と交流しながら古民家を修繕する
提案内容	概要	<p>地域活性化とは ⇒時代、年齢などに関わらずつながりを維持できると実感できること</p> <p>○河和田地区に着目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・使えない空き家: 仏壇があるから貸せないなどマッチングができていない</li> <li>・新旧の断絶: 新しく来た方とうまくコミュニケーションが取れない</li> <li>・失われる技能: 漆器産業や古民家再生技術など</li> <li>・自然: 都会の人にとっては非日常的</li> </ul> <p>⇒古民家いじり倒しプロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民と交流しながら古民家を修繕し住むベースを作る。</li> <li>・資材は自然から調達する。</li> <li>・35歳以下の方を全国から募集して参加してもらう。 (新しいアイデアを生み出すことができる年代)</li> </ul>
	期待される効果	・古民家の修繕を通じて地元民と移住者のつながりができ、地元に残る技術・技能を受け継ぐことができる。
検討結果	判断	一部採択
	形態	既存事業に組入れ
	採択年度	新年度(H28年度)から実施
	事業詳細 または 不採択理由	河和田地区等で提供していただける空き家の情報収集を行い、移住者に貸し出しができるかどうか、また、移住者が独自の修繕を加えることが可能であるか聞き取りを行う。貸し出しができ、修繕も可能な空き家については、ふるさと福井移住定住促進機構(福井Uターンセンター)等を通じて、DIY(日曜大工)をしながら空き家に住む移住者を全国から募る。

平成27年度 学生提案具現化にかかる関係部署検討調書／チームミートボール

提案内容	提案名	あなただけのファーストサバエメガネプロジェクト
	提案者	第8回鯖江市地域活性化プランコンテスト／チームミートボール（最優秀賞）
	提案内容	<b>熟練眼鏡職人がメガネコンシェルジュとしてはじめてメガネをかける人の眼鏡を選ぶ</b>
	概要	<p>メガネをかけ始めるのは13歳～18歳くらい                  メガネには真面目、地味、ガリ勉などマイナスイメージがある→かけたくない                  ⇒似合っていて満足したメガネをかければ自信が持てる</p> <p>○メガネコンシェルジュ                  ・はじめてメガネをかける人は自分に似合うメガネがわからない                  ・店舗スタッフは専門知識に欠ける                  ⇒熟練眼鏡職人が引退後、コンシェルジュとして専門知識や技術を生かす</p> <p>○ファーストメガネ体験                  ・学校の視力検査結果をもとに各家庭にコンシェルジュからの招待状を送付                  ・招待状をもらった子どもは眼鏡店に行き、自分に似合う眼鏡を見立ててもらう</p> <p>○メガネウィーク                  ・市内の中学2年生・高校2年生を対象に10月1日から7日まで眼鏡を知るイベントを開催                  ・眼鏡職人や市長による講義やレクチャー、眼鏡作成体験、意見交換などを行う</p>
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・眼鏡に対するイメージをマイナスからプラスに変え、鯖江産眼鏡への愛着や郷土愛を育む</li> <li>・メガネウィークは学年を決めて開催するため、毎年対象者が異なり、継続的な周知や購買が見込める</li> </ul>	
検討結果	判断	一部採択
	形態	既存事業に組入れ
	採択年度	開始年度未定
	事業詳細または不採択理由	「眼鏡コンシェルジュ」資格制度化、社会貢献と後継者育成、産地イメージアップ等を目的とした「ファーストめがね」、「めがねウィーク」については、以前より県眼鏡協会内で構想中の内容であり、実現に向けて業界との間で協議を続ける。なお、熟練眼鏡職人は、製造技術には長けているものの、ファッションや似合う似合わない等の知識を持つ方は少ない。フィッティング加工等での活用についても検討する。

平成27年度 学生提案具現化にかかる関係部署検討調書／チームシチュー

提案内容	提案名	ネクタイがメガネになる日
	提案者	第8回鯖江市地域活性化プランコンテスト／チームシチュー
	提案内容	眼鏡産業の技術・伝統の継承を図るため、伊達眼鏡市場を開拓する
提案内容	概要	<p>○地域活性化のゴール</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・その町の資源で提供できる最大限の幸福をつくる</li> <li>・ヒト、文化、自然、産業などの財産の維持・継承</li> </ul> <p>○眼鏡産業に着目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2014年国内眼鏡市場規模は4年連続プラス成長</li> <li>・特に伊達眼鏡などファッション眼鏡市場の成長率が高い</li> <li>・鯖江市の眼鏡産業の出荷額・従業員数ともに2008年から2011年にかけてで30%減少 ⇒レンズや度が無い伊達眼鏡市場の開拓</li> </ul> <p>○具体的な取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鯖江発 伊達眼鏡ブランドの構築:20代の女性が伊達眼鏡を着用することで大人の女性に</li> <li>・眼鏡デザインのオープンデータ化で着せ替えアプリを開発 →ブランド加盟店のデザインをオープンデータ化</li> <li>・女性から男性にネクタイではなく伊達眼鏡を送るという文化:クリスマスや記念日の贈答品</li> <li>・伊達眼鏡専門店の設置</li> </ul>
	期待される効果	・既存の眼鏡市場ではなく、伊達眼鏡市場を開拓することで鯖江市の眼鏡産業が産業として持続でき、技術・伝統の継承を図ることができる
検討結果	判断	一部採択
	形態	既存事業に組入れ
	採択年度	開始年度未定
	事業詳細 または 不採択理由	現在、県眼鏡協会において、眼鏡産地「鯖江」としてのブランド確立に向けた施策を検討中であり、ギフト商品としての眼鏡の流通可能性や、伊達メガネでの販路拡大も含め、業界内で検討を重ねる。

平成27年度 学生提案具現化にかかる関係部署検討調書／チーム五平餅

提案内容	提案名	鯖江朝食フェスティバル
	提案者	第8回鯖江市地域活性化プランコンテスト／チーム五平餅 (Best with賞)
	提案内容	<b>鯖江朝食フェスティバルを開催し、漆器の需要拡大を図る</b>
提案内容	概要	<p>地域活性化:あらゆる立場の人が楽しめる形で地域の課題を解決し、市民がより地域に愛着を持てる</p> <p>○漆器に着目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活様式の変化や安価な商品に目が行き需要が減少、経営難や後継者不足に →需要拡大の必要性</li> </ul> <p>⇒鯖江朝食フェスティバル</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ターゲット:31歳女性、夫と3歳の子がいる 平日は子どもを保育園に預けてパート、土日は家族と過ごす</li> <li>・場所:サンドーム福井</li> <li>・1,000円で入場し、味噌汁や全国の米、パン、グラノーラなどさまざまな朝食が漆器に盛られ提供</li> <li>・気に入った漆器1点、漆器カタログ、朝食レシピを持ち帰ることができる</li> <li>・運営形態:市が会場確保、広報、運営など全体の設計、漆器工房や食品会社が出店する</li> </ul> <p>⇒漆器の需要拡大につながる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漆器を生で見えて使うことにより良さを体感でき、購買のきっかけになる</li> </ul>
	期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝食を楽しみながら自然と漆器に触れることで、多くの人に漆器の良さを感じてもらえる</li> </ul>
検討結果	判断	一部採択
	形態	既存事業に組入れ
	採択年度	開始年度未定
	事業詳細 または 不採択理由	<p>越前漆器協同組合では、うるしの里ショップやギフトショーなど各種展示会を通じて、漆器のさまざまなシーンでの使用方法を提案することで、ユーザーが漆器を手にとって頂きやすくなる取り組みをしている。</p> <p>さらなる取り組みとして、実際に提案のフェスティバルを単独で行うことは難しいと思われるが、漆器まつりの際に、漆器を生で見えて使うことにより良さを体感できるコーナーを組み入れるなど、業界内で検討を重ねる。</p>

平成27年度 学生提案具現化にかかる関係部署検討調書／チームロールパン

提案内容	提案名	うるしをぬるし
	提案者	第8回鯖江市地域活性化プランコンテスト／チームロールパン(優秀賞・オーディエンス賞)
	提案内容	<b>越前漆器の認知度を高めるため市内観光名所等のトイレを漆塗りにする</b>
	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレでその土地の文化がわかる</li> <li>・業務用漆器の8割が越前漆器なのに、全国的に知られていないのは残念</li> </ul> ⇒トイレ全てを漆塗りにする <ul style="list-style-type: none"> <li>・はじめに鯖江駅、西山公園、ラポーゼかわだなどの鯖江市内の施設</li> <li>・北陸新幹線や東京スカイツリー、新国立競技場、国際線の飛行機内など</li> </ul> ○漆塗りトイレのメリット <ul style="list-style-type: none"> <li>・漆は抗菌性に優れている</li> <li>・使えば使うほど味が出る</li> </ul>
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漆塗りのトイレというインパクトによって越前漆器の認知度を高めることができる</li> </ul>	
検討結果	判断	一部採択
	形態	既存事業に組入れ
	採択年度	開始年度未定
	事業詳細 または 不採択理由	現在うるしの里会館にあるトイレでは、水回りに漆塗りを使用することで、トイレを居心地良い空間とし、かつ高級感を醸し出し、観光客の皆さまに「さすが漆器のまち」という印象を持っていただいている。このことからトイレに漆を採用することは「漆器のまち」として鯖江を印象付けるのに大変有効的であり、鯖江のファン形成につながることから、出来ることからスタートさせるべく地元業界団体との間で検討を重ねたい。

# 平成27年度 学生提案具現化にかかる関係部署検討調書／チームナタデココ

提案内容	提案名	SABAE2.0 視力日本一の鯖江
	提案者	第8回鯖江市地域活性化プランコンテスト／チームナタデココ(優秀賞)
	提案内容	<b>近視改善に取り組み鯖江市を日本一視力の良いまちにする</b>
	概要	<p>○メガネを作っている鯖江を、日本一視力の良いまちにする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の風景に視力検査のマークを配置すると遠くを意識でき、いつでも視力検査ができる</li> <li>・小学校のカリキュラムにゲーム感覚の眼球トレーニングや良い姿勢を保つための体操などを導入</li> </ul> <p>○近視改善に取り組む理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の健康を増進することで市のイメージが向上し、市内のメガネ生産者の売上げも向上する</li> <li>・市民の健康と市の誠実な取り組みによって、メガネ生産者へのイメージも良くなる</li> </ul>
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市が誠実に近視改善に取り組み、市民の健康が増進されることにより、市内のメガネ生産者へのイメージも向上し、売上げも向上する。</li> </ul>	
検討結果	判断	一部採択
	形態	既存事業に組入れ
	採択年度	今年度(H27年度)から実施
	事業詳細または不採択理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・眼鏡産地としてユーザーの眼の健康を真摯に考える姿勢が鯖江のファン形成につながることから、出来ることからスタートさせるべく地元業界団体との間で検討を重ねたい。</li> <li>・3歳児健診にオートレフケラトメーターを導入し、より精密な視力検査を実施、視力異常児の早期発見に努めている。</li> <li>・子どもの目の健康、トレーニングについて、保育士・教諭等を対象に研修会を開催した。</li> <li>・今後、児童福祉課・学校教育課等と連携の上、目のトレーニング・体操の導入について検討する</li> <li>・パソコン・スマホ等メディアによる目への弊害について、全世代に対して普及啓発する。</li> <li>・ゲーム感覚の眼球トレーニングやよい姿勢を保つための体操について、授業などの時間を利用して実施することはできないが、朝の授業前の時間や休み時間などを利用して眼の体操を実施している学校もあり、今後さらに各学校で取り組めるよう推進していく。</li> </ul>

平成27年度 学生提案具現化にかかる関係部署検討調書／チームパンナコッタ

提案内容	提案名	鯖江に新たな観光産業を作る -鯖江で親孝行って?-
	提案者	第8回鯖江市地域活性化プランコンテスト／チームパンナコッタ
	提案内容	<b>親の銀婚式を鯖江で祝い、鯖江の良さを伝える</b>
提案内容	概要	<p>鯖江幸福量を増大:鯖江市民が地元に対する愛着の量を増やす          →市外から来る人が評価することで市民の自信や誇りにつながる</p> <p>○鯖江の良さを鯖江を知らない人に伝える          対象:銀婚式をむかえる刺激を好む熟年夫婦          内容:子どもがメッセージや親の写真をもとにメッセージボードを作成して銀婚式を祝う          二人の思い出の品を河和田の金継ぎの技術でリメイク、工房の方々が祝福する</p> <p>⇒親孝行ができ、鯖江の良さを鯖江を知らない人に伝えることができる。          ⇒鯖江市民がまちに可能性を感じ、地元愛や誇りが生まれる</p> <p>・実施主体は旅行代理店等、行政はその代理店の招致など</p>
	期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親の銀婚式を鯖江で祝うことにより鯖江の良さを鯖江を知らない人に伝えることができる</li> <li>・市外から来る人が増え、評価されることで市民がまちに可能性を感じ、地元愛や誇りが生まれる</li> </ul>
検討結果	判断	一部採択
	形態	既存事業に組入れ
	採択年度	今年度(H27年度)から実施
	事業詳細 または 不採択理由	<p>(公社)福井県観光連盟で実施している着地型旅行商品「ツアーふくい」では、県内の埋もれた観光資源などを発掘し、地域性のある商品を造成し販売している。          鯖江市からツアーふくいへの新たな提案として、河和田でのものづくり体験等を商品に盛り込んだツアーを企画することにより提案内容の一部を具現化し実施したい。</p>